

（仮称）みらい青空学園の
校章と校歌の制作者が決まりました！

制作者からの
メッセージ付き！

校章・校歌検討部会で検討した結果、（仮称）みらい青空学園の校章と校歌の制作者が次の方に決まりましたので、皆様に紹介します！



校章制作者 **堀田 英子** さん



堀田さんからのメッセージ

子どもたちや地域の方々の想いをカタチに落とし込みながら校章制作に取り組んでいきます。みらい青空学園の顔となる校章が、地域の方々に長年愛されるシンボルとなるよう、尽力させていただきます。



校歌制作者
（作曲） **八木澤 教司** さん



八木澤さんからのメッセージ

音楽を学んだ武蔵野音楽大学があるこの地に貢献したいと思っていたので、みらい青空学園の校歌の作曲を担当できることを大変嬉しく思います。校歌は地域を結ぶ絆の歌だと考えています。この地の人々を明るく勇気づける応援歌になれば幸いです。



校歌制作者
（作詞） **武田 あゆみ** さん



武田さんからのメッセージ

みらい青空学園の校歌の作詞に携わることができ、大変光栄です。皆様の想いを大切に受けとめ、歌詞制作に取り組んでいきます。親しみやすく覚えやすい詞であることはもちろん、明るく響きわたる校歌となるよう精一杯努めさせていただきます。

3名のプロフィールは裏面で紹介！



堀田 英子 さん (校章の制作者)

日本大学藝術学部美術学科非常勤講師。
平成30年から現在に至るまで、日本大学藝術学部と小中学校の地域連携として、旭丘小学校の図工の授業や旭丘中学校の美術の授業で講師を務めるなど、子どもへの教育と地域貢献の一端を担う。過去には勤務校において学校案内パンフレットの作成や名刺・封筒等のデザインを手掛けた。児童・生徒・学生に対し、美術を通じた学びの意味や価値を伝えるために日々取り組んでいる。

八木澤 教司 さん (校歌の作曲担当)

作曲家、神戸女学院大学音楽学部准教授。武蔵野音楽大学作曲学科卒業、同大学大学院音楽研究科修士課程修了。

2019年11月9日天皇陛下御即位奉祝記念式典・国民祭典において天皇皇后両陛下「お出迎へのファンファーレ」として、東京2020パラリンピック開会式の式典音楽として作品がそれぞれ抜擢された。合唱曲として手がけた《あすという日が》は「希望の歌」「東日本大震災復興シンボル曲」と称され、2011年第62回NHK紅白歌合戦において夏川りみ、秋川雅史の両氏によって熱唱された。

これまで全国植樹祭、全国高等学校総合体育大会、国民体育大会の式典音楽制作を歴任。各種コンクール審査員、客演指揮、指導、講演、音楽雑誌執筆に加え、音楽出版社のプロジェクトアドバイザーを務める。

練馬区の小・中学校への合唱・吹奏楽の指導や講評をおこなった経験がある。

武田 あゆみ さん (校歌の作詞担当)

鹿児島大学法文学部人文学科卒業。幼少期から文学に親しみ自分自身の気持ちを綴るうちに「言葉」として表現することの大切さを体感する。

東日本大震災から10年目の2020年に作詞した「南風が吹いたら」は、作曲家の八木澤教司氏により音楽作品として新たな形で命を吹き込まれ、テレビ・ラジオ番組で放送された。被災地で活動されている方を応援したいと前向きなメッセージを込めたこの歌が、作詞家としてデビューのきっかけになった。そのほか、2022年に開校した北上市立東桜小学校校歌（岩手県）の作詞を担当。

現在は同氏と共に国内外の風景と文化をテーマに作品の可能性を探求している。

今後、皆様から寄せられた案を参考に、校章・校歌の制作を進めていきます！

「小中一貫教育校だより」は、旭丘中学校の通学区域である旭丘・小竹地域を中心にお配りしています。

開校に向けた取組状況などは、こちら！



(区ホームページ)

【お問い合わせ】小中一貫教育校推進委員会事務局

練馬区教育委員会事務局 教育振興部
教育施策課 教育施策担当係

☎ 03-5984-1034 FAX 03-5984-1221

✉ ATGAKKO@city.nerima.tokyo.jp